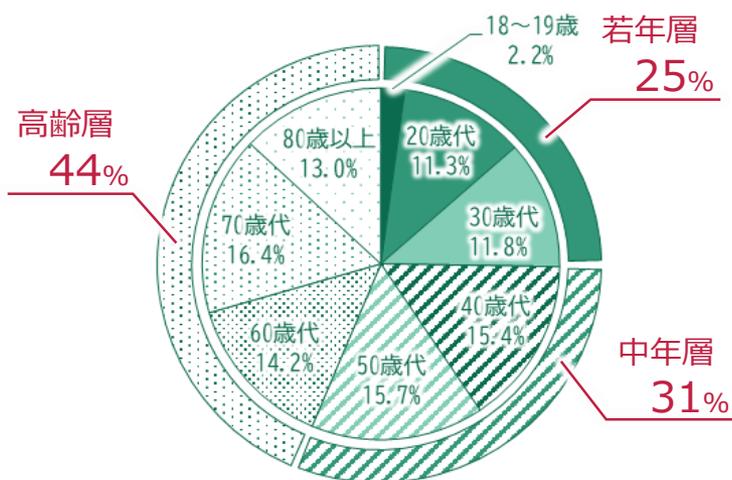


令和4年度 北九州市
文化や芸術に関する
市民意識調査結果（概要）

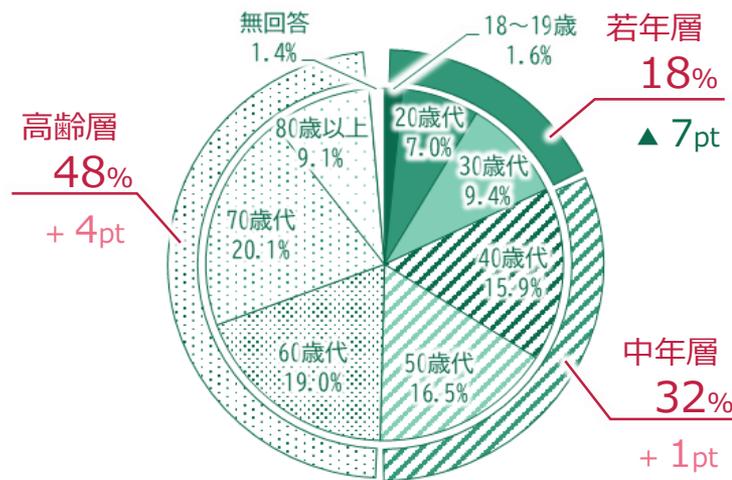
文化や芸術に関する市民意識調査の概要

- 文化芸術の振興を効果的に進めるため、文化や芸術に関する市民の意識と意向を調査
- 年齢が高いほど、回答率が高い傾向がある

北九州市民18歳以上の年齢構成



意識調査結果の年齢構成



調査目的

北九州市の文化や芸術に関して、市民の意識と意向を調査し、文化芸術振興を効果的に推進するための基礎資料を得る

調査対象

北九州市在住の18歳以上の方（R4.12時点で住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法

質問紙を郵送により配布し、郵送またはインターネットで回収

サンプル数

調査票郵送数：3,000票 有効回収数：1,177票 有効回収率：39.2%

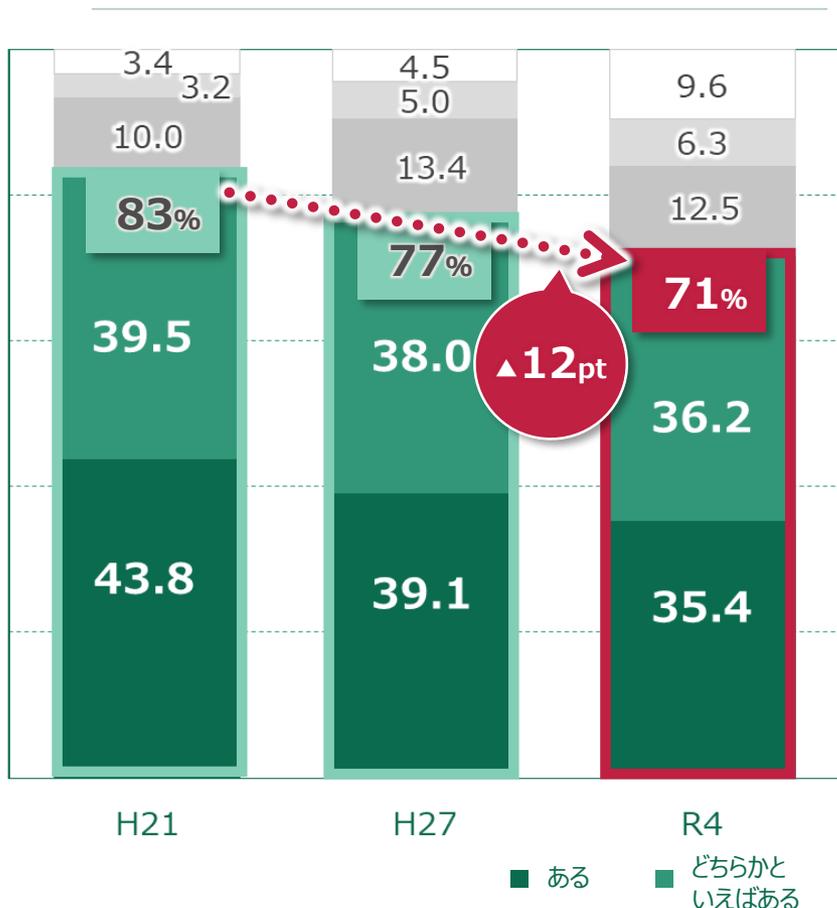
調査時期

令和5年1月下旬～2月中旬

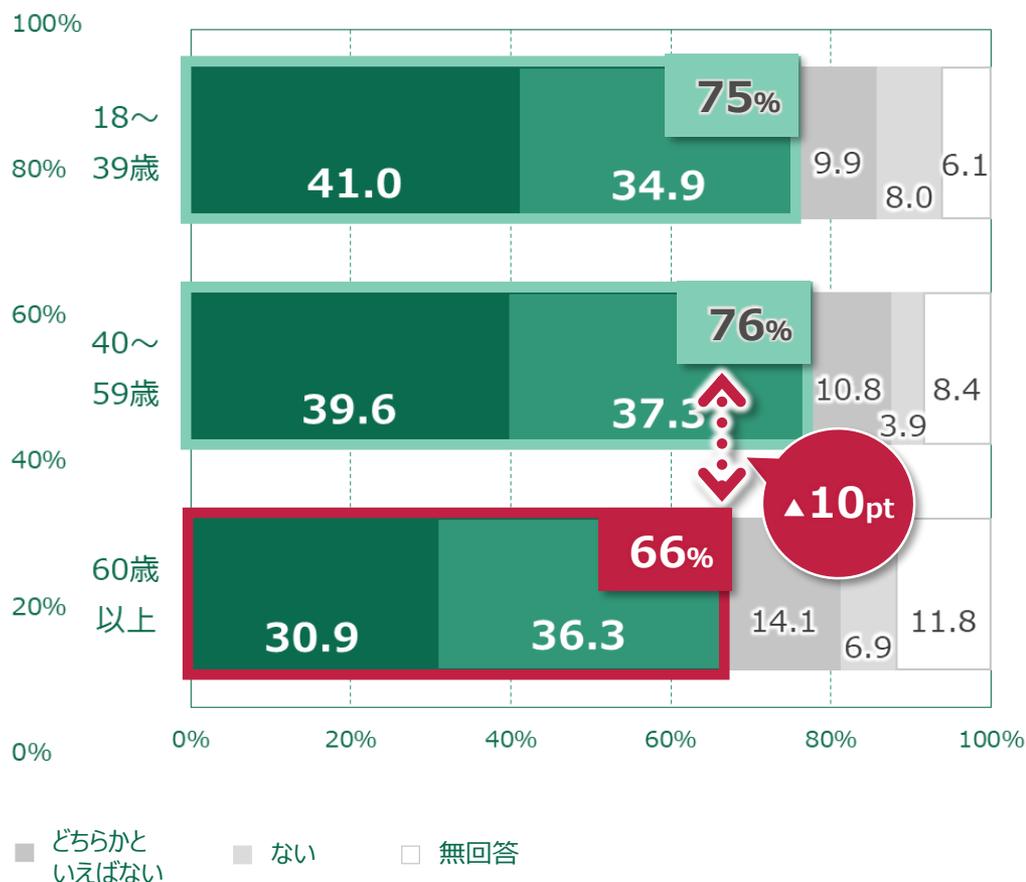
文化や芸術への興味・関心度

- 北九州市民の文化や芸術への興味・関心は、平成21年と比較して減少傾向にある
- 60歳以上の高齢層は、他の年代と比較して文化や芸術への興味・関心が少ない

文化や芸術への興味・関心の有無



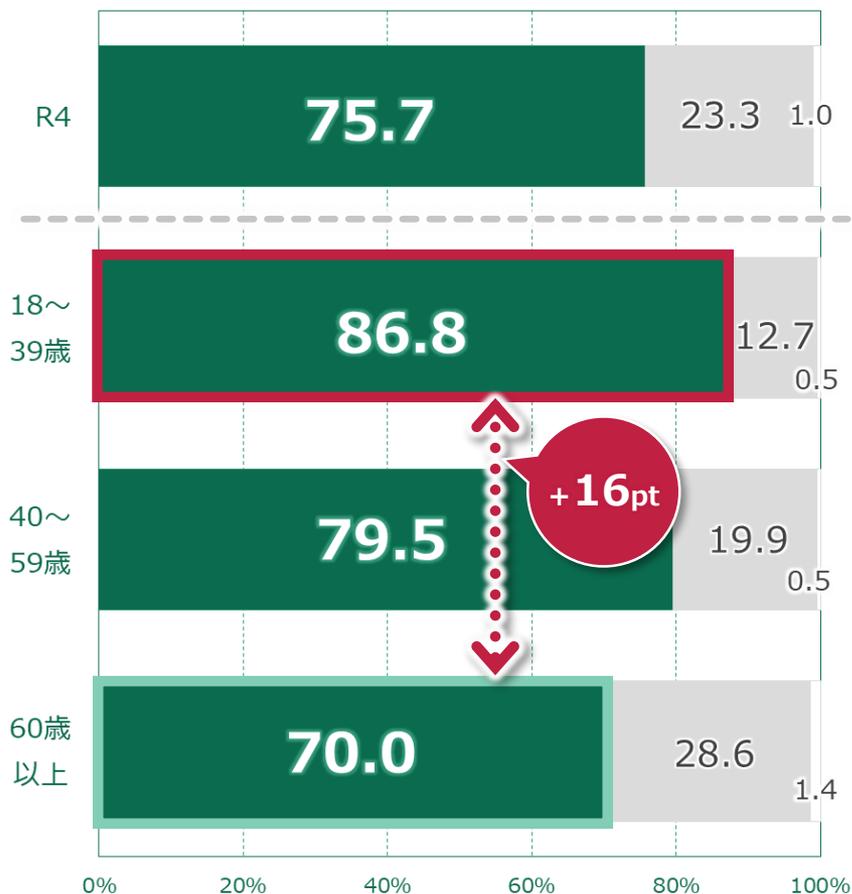
年代別の文化や芸術への興味・関心の有無



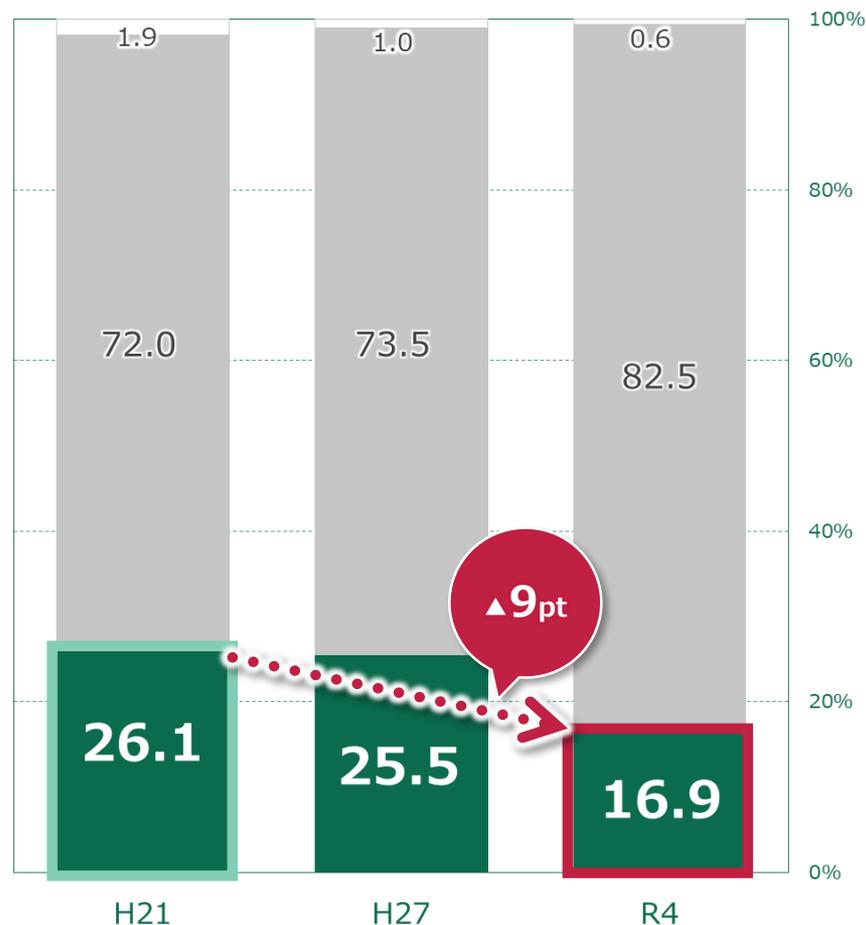
I 文化芸術の鑑賞や活動

- 市民の多くが外出して文化芸術を鑑賞しており、特に、若年層はその割合が高い
- 文化芸術に関する活動は、平成21年と比較して減少傾向にある

文化芸術の直接鑑賞の有無



文化芸術に関する活動の有無



■ した ■ していない □ 無回答

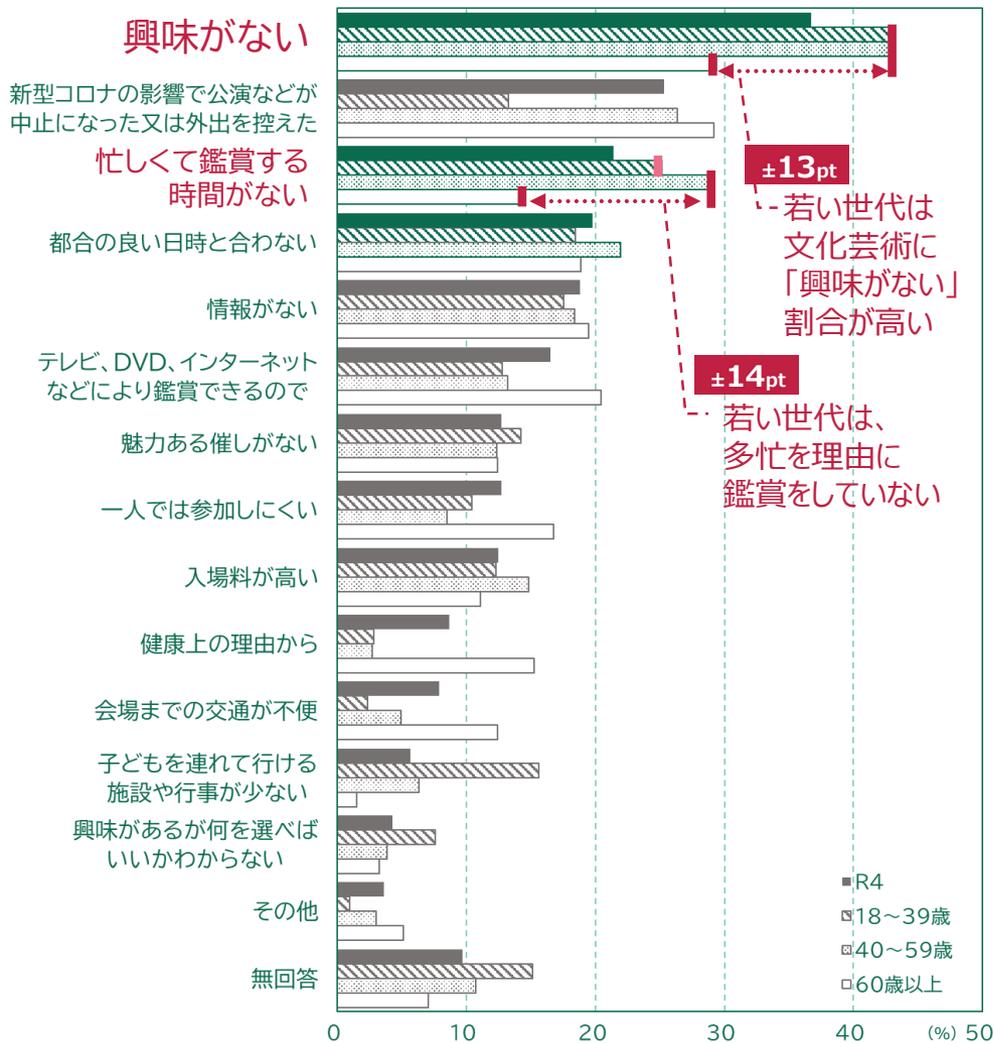
※ 「文化芸術の直接鑑賞の有無」については、比較可能な経年データがない

※ 「文化芸術の活動の有無」については、年齢層に応じた顕著な傾向はみられなかった

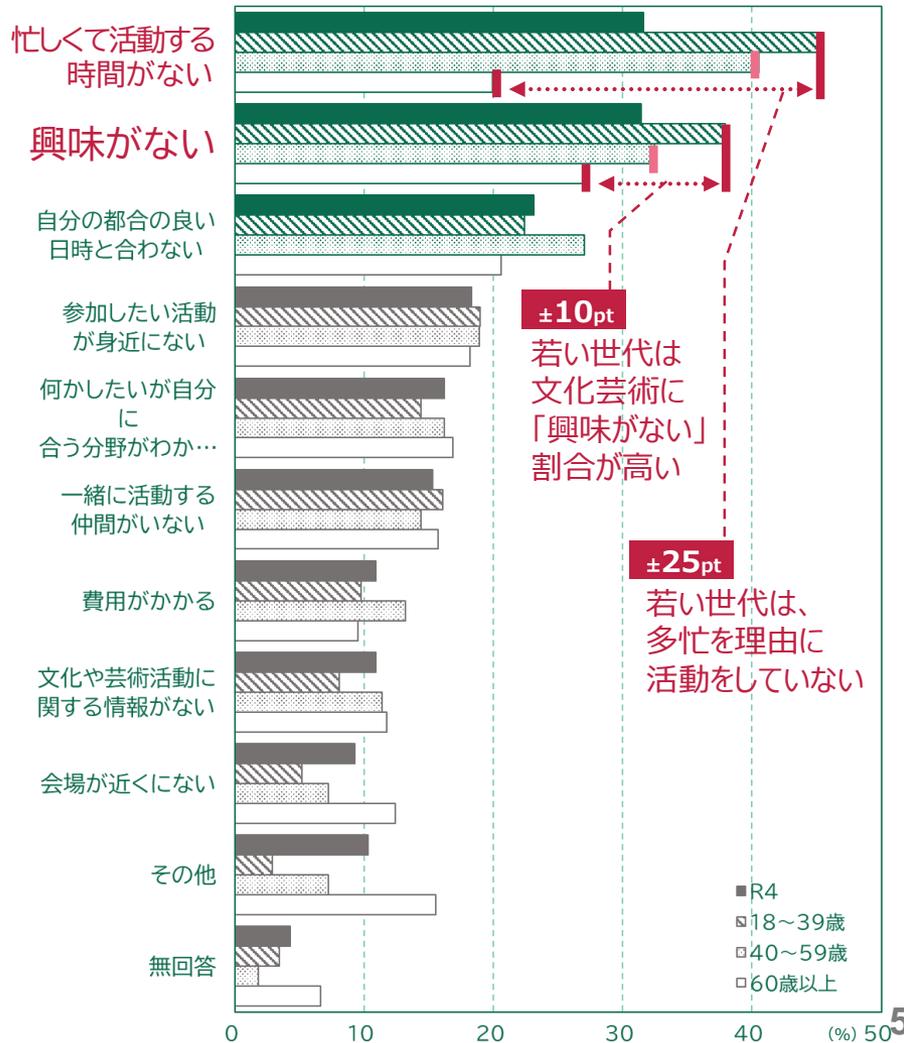
文化や芸術の活動

- 特に、現役世代の文化芸術の観賞や活動をしていない理由を踏まえると、市民の創造性や感性を育てていくためには、「①興味を持つきっかけ」と「②忙しくても参加しやすい仕組み」が必要

文化や芸術を鑑賞していない理由



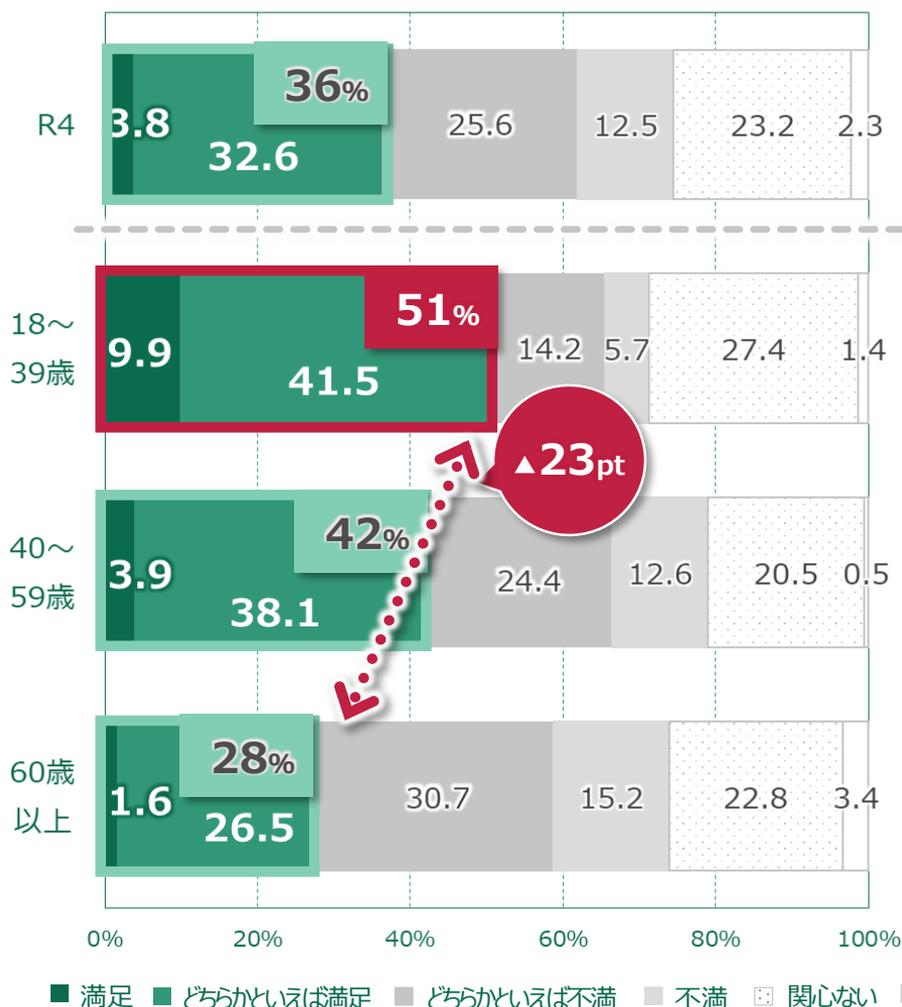
文化や芸術に関する活動をしていない理由



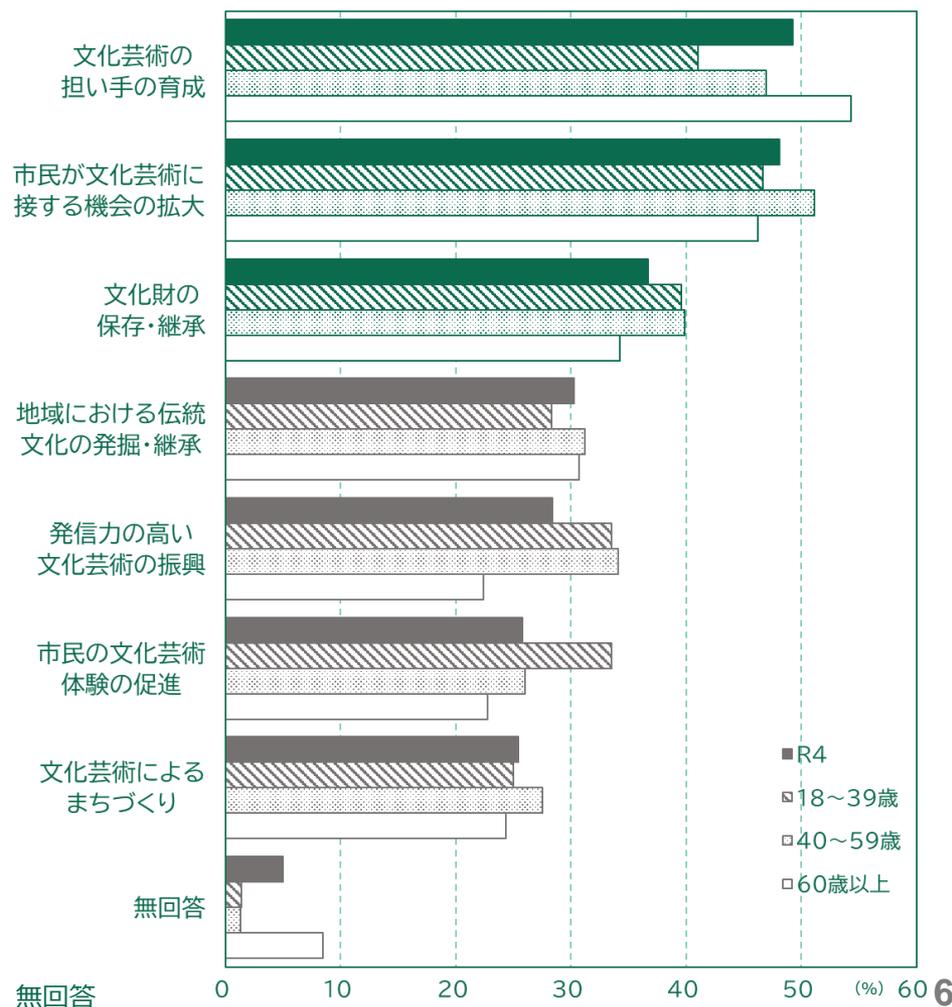
文化や芸術の満足度とニーズ

- 若年層ほど、北九州市の文化芸術の環境に対する満足度が高い
- 文化芸術の担い手の育成や文化芸術に接する機会の拡大、文化財の保存・継承のニーズが高い

文化芸術環境の満足度



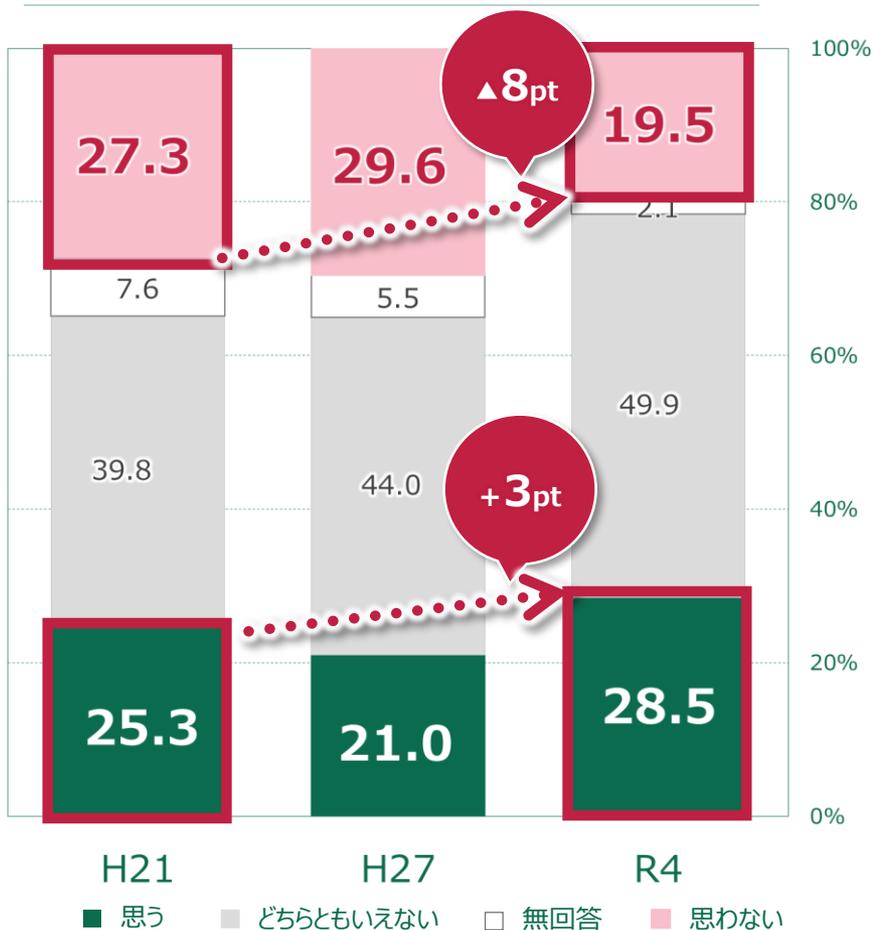
文化芸術で注力して欲しい取り組み



I 文化のかおるまちづくり（市民憲章）

- 平成21年と比較して、「文化のかおるまちと思う」市民が増加するとともに、「文化のかおるまちと
思わない」市民が減少しており、文化のかおるまちづくりが推進されている
- また、80歳以上を除き、若い世代ほど、北九州市を「文化のかおるまち」と思っている

「文化のかおるまち」と思う割合



年代別の「文化のかおるまち」と思う割合

